

育児休業取得 体験記

医療法人同仁会 大分下郡病院
事務部 医事課 河野 崇

□育児休業取得期間：平成27年8月11日 ～ 平成27年8月15日（5日間）

この度上記期間、育児休業を取得しました。その中で感じたこと、気付いたこと等を報告致します。

今回の出産は私共にとって初めての子供になります。従いまして、両親の手助けはありましたが、妻が日夜、授乳、オムツ替え、入浴、夜泣き等に戸惑い、不安な状況に置かれ疲弊しているのを仕事から帰って、また休日時に見ておりました。

しかし、子供と接する時間が少ないため、妻の相談にのること、アドバイスをすることもできず、力不足や、もどかしさを感じる日々でした。

そんな時に育児休業の取得について事業所から案内を受け、育児のことについて知る良い機会、妻とゆっくり育児について話せる良い機会だと考え、申請を行い、取得することになりました。

業務の都合にてわずか5日間の取得でしたが、大変意義のある5日でした。

連日妻と子供の世話をすることで、体力的、精神的な妻の負担を知ることができ、それからは育児に関する共通した会話が以前より多くなりました。

また一番の変化は、育児に対する関心が高まり、子供の成長により目が向くようになったことです。子供のちょっとした仕草や動きが目にとまるようになり、わずかな変化に気付くだけでも成長に幸せを感じています。

今回育休を取得してから少しではありますが、家庭が明るくなり、それに伴い仕事への意欲も増したような気がします。職場の同僚も取得に際し理解いただき、業務に支障をきたすこともほとんどございませんでした。

これからの社会が今回のように性別問わず助け合い、女性が仕事・育児の両立がし易い職場が増えることを強く願っております。

以上簡単ではございますが育児休業のご報告とさせていただきます。

以上